

VLBI 懇談会 2010 年度第 2 回役員会 議事録 (案)

日時 11 月 16 日 (火) 16:00-17:00

場所 電話会議

報告 VLBI 懇談会シンポジウムについて (米倉) (参考資料 1, 2)

議題 VLBI 懇談会シンポジウムにおける VSOP2 に関する議論 (村田)

出席: 市川 (情報通信研究機構鹿島)、徂徠 (北海道大学)、黒田 (国土地理院)、村田 (JAXA)、松本 (東海大学)、高羽 (岐阜大学)、米倉 (茨城大学)、中川 (鹿児島大学)、川口 (NAOJ)、本間 (NAOJ)、土居 (JAXA)、梅本 (NAOJ)、藤沢 (山口大学、事務局、司会)

欠席: 面高 (鹿児島大学)、中井 (筑波大学)、土井 (国立極地研究所)、小林 (NAOJ)

会議に先立ち、藤沢事務局長より面高会長が欠席のため藤沢が議事進行を務めること、また森本雅樹初代会長が 16 日の朝に亡くなったことが報告された。VLBI 懇談会として弔意を表すこと、そのために必要な措置を事務局で取り扱うことが提案され、了承された。

また今回の役員会は、VSOP2 に関する状況について、VLBI のユーザ組織である VLBI 懇談会で議論することが役員から提案されたことを踏まえて行うことが説明された。

【報告】 VLBI 懇談会シンポジウムに関する報告

米倉委員の電話がつながりにくい状態だったため、藤沢が代わりに報告した。特に大きな問題はなく準備を進めている。森本先生がお亡くなりになったので、追悼の意をこめた発表 (またはセッション) を行いたいという意見があり、世話人で調整することとなった。

【議論】 VLBI 懇談会シンポジウムにおける VSOP2 に関する議論 (村田)

村田委員から VSOP2 の現状について、これまでの経緯、国立天文台電波専門委員会、宇宙科学研究所宇宙理学委員会等で議論が行われたこと、その結果に基づいて宇宙研・JAXA で判断が出される予定であることなどが説明された。アンテナの面精度、経費の面、計画のスケジュール、プロジェクトの実施体制など、いくつかの点で厳しい状況にあることが率直に説明され、このような状況を踏まえて、VLBI のユーザ組織である VLBI 懇談会においても VSOP2 計画について議論をしてほしいということである。

これに関し、議論をするには状況に関する共通の認識が必要であることが強く主張された。すなわち現状では宇宙研・JAXA で判断が出されていないので、その結論を待たないと、十分意義のある議論ができないのではないかという懸念がある。これに対し、ミッション成立性を検討した報告 (通称満田レポート) や電波専門委員会で議論された本計画の目指す科学研究の意義など、重要な公の情報もあるので、これらを基礎とした議論もできるという考え方もある。

上記のことを含め、VLBI 懇談会シンポジウムでは将来計画の中に位置づけて議論をするという提案、ユーザの立場からサイエンスの価値に関する議論をするという提案など、いくつかの観点で議論が行われた。最終的に、宇宙研・JAXA で判断が示されて状況が明らかになった時点で、VSOP2 のことに特化した VLBI 懇談会シンポジウムを開催するのが良いのではないかという意見が出された。多少の議論の結果、12月のシンポジウムでは VSOP2 に関する議論を行い、VSOP2 特化のシンポジウムを開催する方向へ議論を進めようということが確認された。